

# 自分でできるよ！

作成日:2026.1.27  
対象児:2歳児 ひまわり組  
作成者:進藤葵月

ねらい:身の回りのことに主体的に取り組み、できた喜びを味わう。



～振り返り～

1月に入り、園で体操服を着て過ごす子どもが増えてきました。友だちが制服を着て登園する姿を見て、「じぶんも着たい」と目を輝かせ、ワクワクした様子で身支度に興味を示す姿が見られるようになりました。友だちの姿がきっかけとなり、新しいことに挑戦してみようとする気持ちが育ってきていることを感じます。実際に制服を着始めると、「じぶんでやりたい」という思いが強くなり、身支度の場面では主体的に関わろうとする姿が増えてきました。ボタンを外す際には、「先生とやる？自分でやる？」と声をかけると、「じぶんでするよ」「じぶんでできるんよ」と自信満々に答え、自分で挑戦しようとする姿が見られます。その気持ちを大切にしながら、保育者は子どものやる気を尊重して見守っています。指先を使いながら一つひとつ確認するようにボタンを外し、できたときには「先生！ボタン外せたで！」と誇らしげに知らせてくれる姿もあります。「すごいね！」と声をかけると、嬉しそうに笑顔を見せ、自信につながっている様子が感じられます。制服という新しい生活の中で、友だちの姿に刺激を受けながら身の回りのことに主体的に関わる経験を重ね、達成感や自信を積み重ねていく姿が見られています。今後も、日々の身支度の中で生まれる小さな「できた」を大切にしながら、子ども自身が自分の成長を感じられる経験を重ねていきたいと思えます。(自立心、協同性、言葉による伝え合い)